

ノバレーゼ、賃上げ、正社員の月収 1.85%引き上げ
役職者は同 3.6%アップ、手当も充実 27%増
キャリアアップの意欲高める給与体系づくりで、人材確保・育成を強化
 ～ 業績好調、今期の売り上げ 2年ぶりに過去最高更新へ ～

ブライダル大手の(株)ノバレーゼ(本社:東京都中央区、荻野洋基社長、資本金:100百万円)は、社内的人事等級制度を9年ぶりに大幅に見直し、職種ごとにメリハリのある給与体系を新たに導入し、2018年4月15日付け支払い分の給与から反映します。

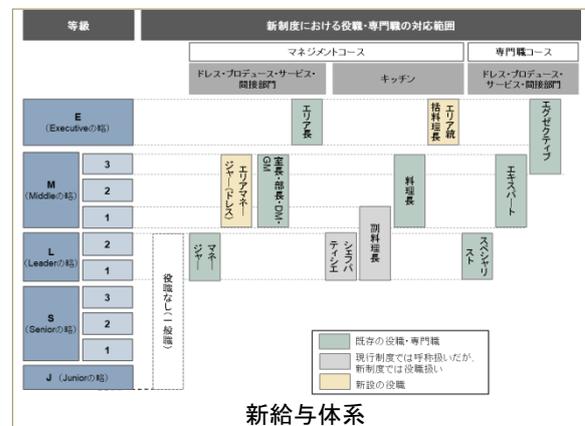
新たな給与体系では、休職者と入社半年未満を除く正社員565人を対象に、月収ベースで平均約1.85%の賃上げを実施します。当社の賃上げは前制度から9年連続です。

今回特に、正社員の四分の一にあたる役職者155人は、基本給を平均1.8%底上げしながら、役職手当を同27.3%引き上げ、月収を同3.6%賃上げします。

同時に、役職手当は2019年にさらに20%引き上げることも決定しています。

新制度では、役職や専門職と等級の関係を整理するとともに、基本給ランクや役職手当の見直しを行うことで、役職者ごとの給与体系を明確にしました。より責任のある任務に就く社員や周囲をまとめる管理職やマネジメント職の給与を手厚くし、その頑張りに報います。

キャリアアップを目指したくなる環境を給与体系でもつくることで、将来の役職者、管理職者、経営層を育てたい考えです。



また、レストランサービスやマネジメントコース以外の専門職部門にもエグゼクティブ職を新設しました。入社後に社員の希望や適性で選べるコースごとにステップアップできる体制を導入することで、全社員が中長期的なキャリアを見通せるようにしました。

当社の足元の受注状況は好調で、2017年度中(1～12月期)に受注した披露宴組数が、前年同期比34.5%増(1028組増)の4010組となり、初めて4000組を突破しました。昨年の受注と今年度の実施婚礼組数がおおむね連動するため、2018年度(1～12月期)の連結の売上高は、2年ぶりに過去最高を更新する見込みで、今年度(163.5億円)の12.6%増となる184.1億円を計画しています。

現場で活躍する社員が自然と上を目指す環境を整えることで、事業全体をみる経営ボードを育て、次なる成長につなげたい考えです。

————— 本件に関するお問い合わせ先 —————

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井 TEL.03-5524-2299 FAX.03-5524-1133

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp